

7月29日(水)開催

日本企業が知っておくべき

中国における著作権保護の実情と対策

中国における知財関連訴訟の件数は毎年増加を続けていますが、実はその半数以上が著作権に関する訴訟です。様々な著作物の模倣・デッドコピーによる被害や、著作権をめぐるトラブルが依然として後を絶たないことが数字上も明らかとなっています。

その中でも日本の様々な著作物は注目度も高く、常に狙われ続けています。メディアで取り上げられることの多いアニメや漫画関連の模倣被害はもちろん、ゲームや出版物、企業ロゴから技術書類の違法コピーまで、その被害は多岐に渡ります。

今回のセミナーでは、長年にわたり現地の最前線で日本企業の知財サポートを続けており、著作権についても豊富な知識と経験を有する講師が、中国著作権保護の現状と日本企業が検討すべき対策をご紹介します。

模倣行為が巧妙化・複雑化している今日の中国においては、商標権や特許権・意匠権に加えて、著作権も視野に入れつつ複合的な対策を検討する必要性も高まっています。

業界によっては軽視されがちな著作権ですが、最近では中国知財リスクへの備えとして「著作権登録」を積極的に活用する企業もあるようです。

是非この機会に中国著作権に関する実情を把握し、対策を検討してみませんか？
皆さまのご参加をお待ちしております。

講師 **宮原 貴洋 (みやはら たかひろ)**

啓源国際特許事務所 所長弁理士 / 上海堅山管理咨询有限公司 総経理

元 独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ) 上海事務所 知識産権部部长

大手飲料メーカーの知財部門を経て、2004年より日本貿易振興機構(ジェトロ)勤務。

上海事務所の知的財産部長として、日系企業の支援に従事。「中国知財リスク対策マニュアル」等の編纂に関わる。中国における著作権侵害の現状と対策に関する研究会委員、中国知的財産リスクについての調査研究委員会委員などを歴任。中国の知財事情に精通したプロフェッショナルとして、講演・著作多数。

<主な著作>

- ◆「悪意先駆商標および関連模倣行為の現状と対応」(『知財管理』2012年8月号 日本知的財産協会)
- ◆「OEM対外加工に関わる商標法関連の留意点」(『知財管理』2013年2月号 日本知的財産協会)

企画・運営 **日本アイアール株式会社**

〒160-0008 東京都新宿区三栄町25-7 太田ビル3F
電話: 03-3357-3467 FAX: 03-3357-8277 E-mail: ir@nihon-ir.co.jp

★日本アイアール中国著作権専門サイト
<http://www.cn-copyright.net/>

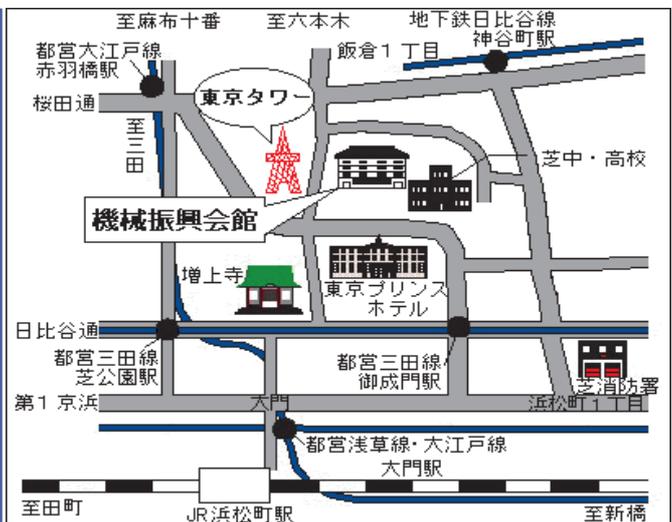
★日本アイアール・メインホームページ
<http://www.nihon-ir.jp/>

「中国における著作権保護の実情と対策」講座内容（※予定）

- ◆中国で増加を続ける著作権関連訴訟。その実態とは？
- ◆中国における著作物の模倣/海賊版/デッドコピーの実情
 - ・映像、アニメ、ゲーム
 - ・キャラクター、出版物、企業ロゴ/ブランドのマーク
 - ・各種技術書面（設計図、マニュアル） など著作物別に紹介します
- ◆中国著作権制度の概要
- ◆中国のソフトウェア著作権について
 - ・WEBコンテンツ、アプリ、プログラムの保護
- ◆中国の職務著作について
- ◆著作権登録の活用
- ◆著作権の譲渡/ライセンス（使用許諾契約）の登録について
- ◆商標/特許/意匠などと併せた多面的な保護の重要性
- ◆日本企業の皆さまへの提言（まとめ）

（※）講座内容の予定項目は一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

- ◆開催日： 2015年7月29日（水）
- ◆時間： 午後 14:00～16:30
- ◆場所： 機械振興会館 研修1号室
 - ※アクセス：日比谷線 神谷町駅 徒歩8分
 - 都営三田線 御成門駅 徒歩8分 他
 - （右の地図をご参照ください）
- ◆定員： 60名
- ◆受講料： 5,000円/1名(税別)
 - [税込：5,400円/1名]



■申込書（中国における著作権保護の実情と対策）

以下の事項をご記入の上、日本アイアール宛にFAXで送付してください。

FAX番号: 03-3357-8277

会社名		部署名	
住所	〒		
お名前		E-Mail	
電話番号		FAX	